

ボランティア体験プログラム

あやべ里山再生プロジェクト

こうなみやま
綾部・神浪山の古道を蘇らせ

自然と共存した文化を体感し、

里山の繋がりを再現しよう

～人が歩いて交流をしてきた峠道～

参加者募集要項

■ボランティア体験プログラム「あやべ里山活性化プロジェクト」は、京都府北部に位置する綾部市を舞台に、里山（人里に近く、人と自然の共生が図られた山林）の保全と地域の活性化に取り組む活動です。6月は自然ひろがる綾部市白道路(はそうじ)地区で、里山めぐりのモデルゾーンづくりや村人との交流を通じて地域再生にとりくみましょう。

■白道路地区は綾部市中西部に位置し、のびやかな農地に包まれた牧歌的な村です。2012 年度のあやべ里山再生プロジェクトでは白道路を舞台として、村人とともに地域の歴史の発掘、お大師さんの名で親しまれる八十八ヶ所参道の整備、稲荷神社の初午祭のお手伝いなど、伝統を振り返りながら未来につなげていくとりくみを行いました。

白道路での受け入れ組織である「神浪山麓ふるさと会」では、2013 年度は「里山」を主要テーマのひとつに掲げておられます。この6月のプロジェクトでも、里山めぐりの道づくりをおこないましょう。

この村には村人に親しまれた「神浪山」（こうなみやま）と「遠坂峠」（とおざかうげ）があります。神浪山は富士山のように均整のとれた円錐形の山容

が特徴で、その名の示すとおり古来、神聖な山として大切にされ、また中世の山城跡もあります。また遠坂峠は白道路と、南隣の吉美地区の村々とを結ぶ峠であるだけでなく、綾部の市街地と志賀郷地区とを最短距離で結ぶ重要ルートとして活用され、一本だけでなく貫禄のある複数の峠道が峠に集まり、山のなかに息づいています。

神浪山では1995年頃に地元のグループが登山道を整備したり案内看板を立てたりしました。ただ最近では山に入る人も少なくなり、看板が錆びて倒れたり、登山道に倒木が増えたりしています。

今回の活動ではまず、村人とともに山道を歩き、峠越えの交通文化や、薪炭を通じた里山利用、植物の種類、山城の歴史など、人と自然の相互作用について豊かな里山の中で学びとりましょう。

次に、あまり使われなくなった神浪山と遠坂峠の山道で倒木を取り除き、古くなった案内看板を修理して立て替える作業をしましょう。

そして単に作業だけでなく、神浪山や遠坂峠にまつわる言い伝えや記憶を村人から聞き取り、まだ文字化されていない里山の歴史を今のうちに記録にとどめるオーラルヒストリーの作業にも取り組みましょう。

神浪山と遠坂峠には山道が蜘蛛の巣状に張り巡らされ、無限に多様な巡回ルートを設定することが可能です。自然の面では、萌芽更新したクヌギやケヤキなどの広葉樹、山野草や杉や桧の植林、樺の群生のほか、増えつつある竹など里山の植生をめぐる状況に触れることができ、動物の糞などを見る機会があるかもしれません。また歴史の面では無数の旅人の足跡を刻んだ峠道や戦国時代の山城跡、炭焼き窯、道しるべや石仏など、人々が里山を生活の舞台とし、山から資源を得て生きていた時代の息吹きに触れることができます。山道をめぐるなかで人と自然のかかわりを学ぶのに格好の典型的なモデルゾーンとして再生できる可能性を秘めています。

■白道路は伸びやかな田園風景が広がる豊かな村ですが、過疎化・高齢化、鳥獣害や里山荒廃といった自然の変化などの波がしのびより、農業技術の継承や世代間のコミュニケーション、人口の維持などの面で潜在的な課題を村人は感じておられます。そんな中、若い学生との会話や交流、若い視点から観たアイデアや意見の交換は、何者にも代え難い元気の源であり活性化の機会です。単なる作業でなく、田舎を知り、愛着を持つため、村の取り組みや悩みを知り、里山保全、地域活性化の意味について学び、達成感ある仕事をおこなうことで、消えることのない地域との絆をつくる2日間としましょう。農村の状況、そして取り組みの実績と成果について広く伝えていくため、記録もしっかり残していきましょう。村の皆さんは一度きりの出会いでなく長く続く交流を願っておられます。今回の出会いを経て、再度の交流やお手伝いができるよう、今後につなげていきましょう。住民との交流を深め、老若男女のコミュニケーション

のある元気な時間をつくりましょう。

■今回、私たちが活動フィールドとし、守ろうとする里山は人と自然の共存するシンボルになるかもしれません。再び美しい里山を取り戻し、将来には神浪山や遠坂峠の山道で各地からの旅人が触れあい、出会うことの出来る記念ハイキングも開催できることを夢みながら、2日間集中して汗をかいてみませんか。

【申し込み期間】2013年4月23日（火）13：00 ～ 6月5日（水）16：00

【定員】先着 15 名

募集概要

1. 日程

2013年6月15日（土）～16日（日）1泊2日

2. 活動概要

（1）活動場所

京都府綾部市^{はそうじ}白道路地区

（2）活動受け入れ団体

神浪山麓ふるさと会（綾部市白道路地区）

特定非営利活動法人 里山ねっと・あやべ HP：<http://www.satoyama.gr.jp>

（3）主な活動内容

■山道を歩き、峠越えの交通文化や、薪炭を通じた里山利用、植物の種類、山城の歴史など、人と自然の相互作用について豊かな里山の中で村人から学ぼう

■あまり使われなくなった神浪山と遠坂峠で倒木を取り除き、古くなった案内看板を修理して立て替えよう

■神浪山や遠坂峠にまつわる言い伝えや記憶を村人から聞き取り、まだ文字化されていない里山の歴史を今のうちに記録にとどめよう

(4)活動場所のイメージ



白道路地区のシンボル「神浪山」



登山道の看板



山城跡のある神浪山の山頂



神浪山中腹から白道路地区の展望



神浪山を彩る椿と山桜



遠坂峠



歴史の貫禄ある遠坂峠の古道



遠坂峠から綾部市街地の展望



遠坂峠道にある炭焼き窯の跡



遠坂峠道にある古い道しるべ

■2013 年 6 月 15 日（土）

時刻	場所	内容	備考
11:52	JR 綾部駅	到着（昼食は各自持参のうえ電車で済ませておくこと）	昼食持参
12:00	JR 綾部駅	改札に集合、白道路に移動	
12:30	白道路公会堂	ガイダンス（白道路地区とその里山の概要説明、および二日間のミッションの確認）	山に行く前にお手洗いに行くこと
13:30	遠坂峠・神浪山	山道の調査と古い案内看板の回収、道沿いのたからもの探し（植物や歴史遺産）	遠坂峠→星原境→中村峠→神浪山→上宮神社
17:00	公会堂	看板の洗浄・回収および夕食作り	分担し並行作業
18:00	公会堂	夕食＋神浪山や遠坂峠をめぐる村人の記憶や言い伝えの聞き取り調査	
21:00	白道路の民家	民家に分宿し風呂・就寝	

■2013 年 6 月 16 日（日）

時刻	場所	内容	備考
07:00	白道路の民家	起床・朝食	
08:00	白道路の民家	昼食弁当づくり	おにぎり等
08:30	上の宮神社	集合、作業内容と分担、道具類の確認	お手洗いに行く
09:00	神浪山登山道	倒木処理、看板設置	
12:00	神浪山頂	昼食弁当	
13:00	遠坂峠	遠坂峠経由で下山	
14:00	公会堂	まとめディスカッション	
15:30	公会堂	綾部駅に移動	
16:07	綾部駅	綾部駅発	17:52 京都駅着

4. 参加費

交通費、宿泊費、ボランティア保険料、現地での活動費用が必要です。

①宿泊費 白道路町の民家に分宿(1泊) ￥3,000

②食費 16日夜、17日朝・昼(3食) ￥2,000程度

③現地交通費 ￥700

④ボランティア保険料 京都市社会福祉協議会 ￥300

合計￥6,000程度

※上記のほかに、綾部駅までの交通費がかかります。目安:京都駅～綾部駅(片道1280円)

5. 持ち物

☐第1日の昼食(弁当・パン・飲物など)

☐雨具(カッパ)

☐着替え(長袖、長ズボン、多目に)

☐水筒

☐ベルト

☐帽子

☐寝巻き(ジャージなど)

☐運動靴(できるだけ底の厚いもの)

☐タオル、バスタオル

☐保険証のコピー

☐洗面具(歯ブラシなど)

☐筆記用具

6. 集合・解散

(1) 集合・解散時間・場所

集合:6月15日(土)12:00 JR嵯峨野山陰線「綾部駅」改札口集合

解散:6月16日(日)16:00 JR嵯峨野山陰線「綾部駅」改札口解散



綾部駅 集合・解散場所地図

(2)京都駅から綾部駅までのアクセス 京都駅(円町駅)発着の場合の推奨ダイヤ
京都駅(円町)～綾部駅 所要時間:約2時間 運賃:片道1,280円

<行き>		<帰り>	
10:07	京都 JR 山陰本線快速「園部」行	16:07	綾部 JR 山陰本線普通「園部」行
↓	(10:14「円町」より乗車可)	↓	
10:43	園部 JR 山陰本線普通「福知山」行	17:15	園部 JR 山陰本線快速「京都」行
↓		↓	(17:43「円町」にて下車可)
11:52	綾部	17:52	京都

応募方法

(1)申し込み方法

下記のフォームに必要事項を記入し、

ritsvc@st.ritsumei.ac.jp までお送りください。

【件名】「あやべ里山プロジェクト申し込み」

【申し込みフォーム】

=====

「あやべ里山プロジェクト」に参加申し込みをします。

【学生番号】

【学部・回生】

【氏名・よみがな】

【住所】(※ボランティア保険の加入手続きに使用します)

【携帯電話】

【緊急時電話番号】

【学内メールアドレス】

=====

(2)選考について

応募者が定員(15名)を超えた場合、**先着順**で受付をします。

問い合わせ

立命館大学サービスラーニングセンター(担当:白井)
[衣笠]〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 学而館 1 階
TEL:075-465-1952 FAX:075-465-1982
[BKC]〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 セントラルアーク 2 階
TEL:077-561-5910 FAX:077-561-5912
E-mail: ritsvc@st.ritsumei.ac.jp
URL: http://www.ritsumei.jp/vc/index_j.html